

地域連携 News

Japanese Red Cross Otsu Hospital

2026
5
vol.32

大津赤十字志賀病院 院長就任のご挨拶

地域の先生方におかれましては、平素より大津赤十字病院および大津赤十字志賀病院へのご協力を賜り大変有難うございます。

私儀、本年4月1日付をもちまして大津赤十字志賀病院院長を拝命いたしました。私は1988年神戸大学卒業後、消化器内科専門医として研鑽を積み、直近の15年間は大津赤十字病院消化器内科部長として、また後半は副院長として診療および経営に携わってまいりました。この度、大津赤十字志賀病院の運営を託され、地域医療の重責を担うことに、身の引き締まる思いであります。

大津赤十字志賀病院は、一般病床、地域包括ケア病床、療養病床を備えたケアミックス型の病院として、急性

期後の受け皿から慢性期管理、在宅支援まで、多機能な役割を担っております。特に、大津赤十字病院本院との強固な連携を維持しつつ、地域の先生方からのご紹介をスムーズに受け入れる後方支援機能の充実により一層注力していきたいと思っております。患者さんが住み慣れた地域で、安心して療養を継続できるよう、リハビリテーションや生活復帰支援の質をさらに高めていきたいと考えています。

また、当院では人間ドックや健診を通じた疾病の早期発見、予防医学にも力を入れています。先生方が診られている患者様の精密検査や定期チェックの場としても、当院の設備と専門性を積極的にご活用いただければ幸いです。

少子高齢化や人口減少、そして度重なる制度改正など、地域医療は今、大きな転換期にあります。こうした時こそ、医療機関同士の「顔の見える連携」が不可欠です。大津赤十字志賀病院は、坂の上の交通至便とは言い難い立地でございますが、その分、静寂な療養環境と心のこもった医療看護を提供させて頂いております。

今後とも地域の先生方のご期待に沿えるよう、職員一同、精一杯努めてまいります。引き続き大津赤十字志賀病院に対しまして温かいご支援を賜りますとともに、新任院長に対しまして、前任者同様格別のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



大津赤十字志賀病院
院長
かなみ ちはる
河南 智晴

